

東北3会に復興支援C

人材、費用をバックアップ

日本建築士事務所協会連合会（三栖邦博会長）は、東北3県（岩手、宮城、福島）の各単位会と連携し、東日本大震災の復旧・復興業務を円滑に進める体制を整えた。21日付で3単位会に設置する「建築復興支援センター」は、日事連が単位会を全面的にバックアップし、被災者の建築相談、建築士事務所の技術力向上などの支援策を手掛ける。

東日本大震災では、特に岩手、宮城、福島での被害が大きく、さらに広範にわたっているため、各県の事務所協会だけでは十分な復旧・復興活動ができない状況にある。

旧・復興に向けた建築士事務所
の技術力向上▽復興まちづ
くりや各種防災イベント—
に対する支援のほか、建築行
政の協力・連携や広報活動を

手掛ける。専門的な知識が必要となるため、各単位会に構造技術者などの担当職員を置く。日事連は地域の主体性を尊重しながら、3年間にわたって一定の範囲内で費用を負担する。

具体的な業務は、各単位会が地域の状況に応じて実施する。日事連は地域の主体性を尊重しながら、3年間にわたって一定の範囲内で費用を負担する。

日事連が単位会と連携して設置する建築復興支援センターは、単位会の復旧・復興活動を全面支援する。阪神・淡路大震災後の対応事例を参考に、▽被災者の建築相談▽復